

若宮地区の防災まちづくり

～ 未来につなぐ、安全に暮らし続けられるまちへ ～

令和3年3月

中野区

まちづくり推進部 まちづくり計画課



1. 東京都の地域危険度

「あなたの住んでいるまちは、どのくらい危険か」把握していますか？



東京都都市整備局

測定調査の公表

東京都は条例によって、災害が生じた場合の危険性について地域ごとに評価した結果を公表している。

調査の目的

- 地震災害時に対する都民の認識を深め、防災意識の高揚に役立つ。
- 震災対策事業を実施する地域を選択する際に活用する。

4つの評価

- ① 建物倒壊危険度（建物倒壊の危険性）
- ② 火災危険度（火災の発生による延焼の危険性）
- ③ 災害時活動困難度（道路の整備状況による災害時の活動の困難さ）
- ④ 総合危険度（①②の指標に③を加味して総合化したもの）

危険性が低い ← → 危険性が高い



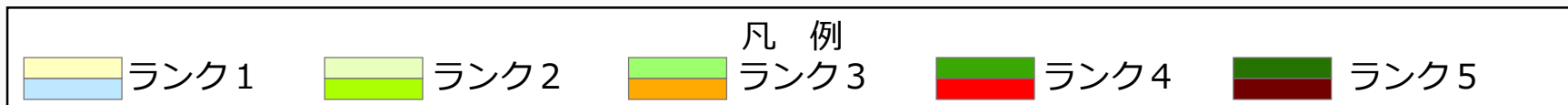
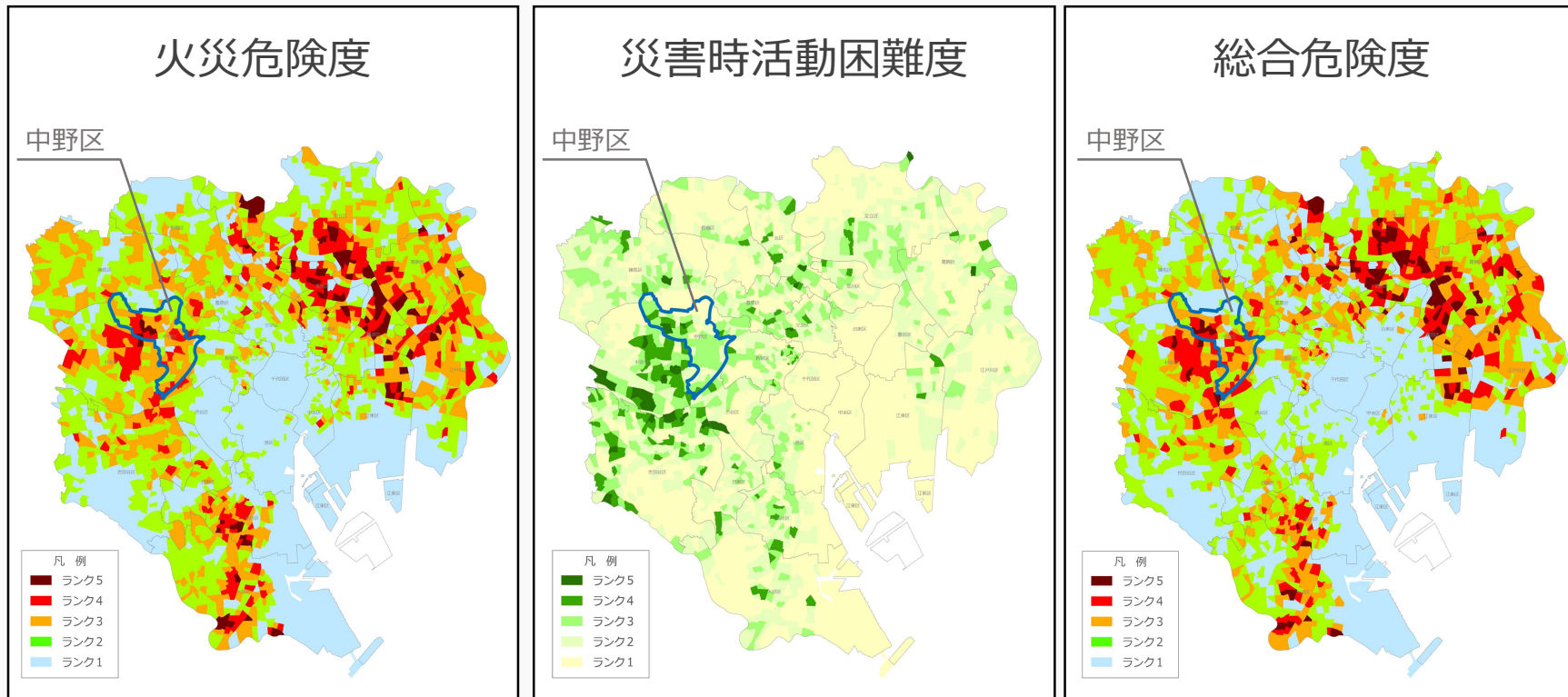
評価方法

調査対象5,177町丁目ごとの危険性の度合いを、5つのランクに分けて、相対的に評価。

1. 東京都の地域危険度

23区内でも、中野区は危険度が高い

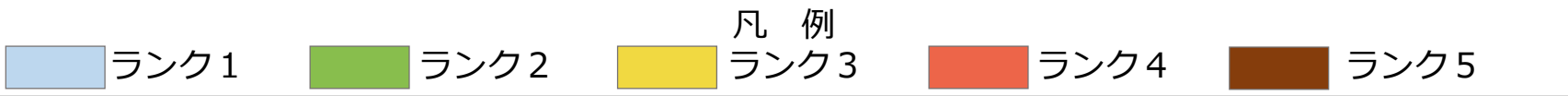
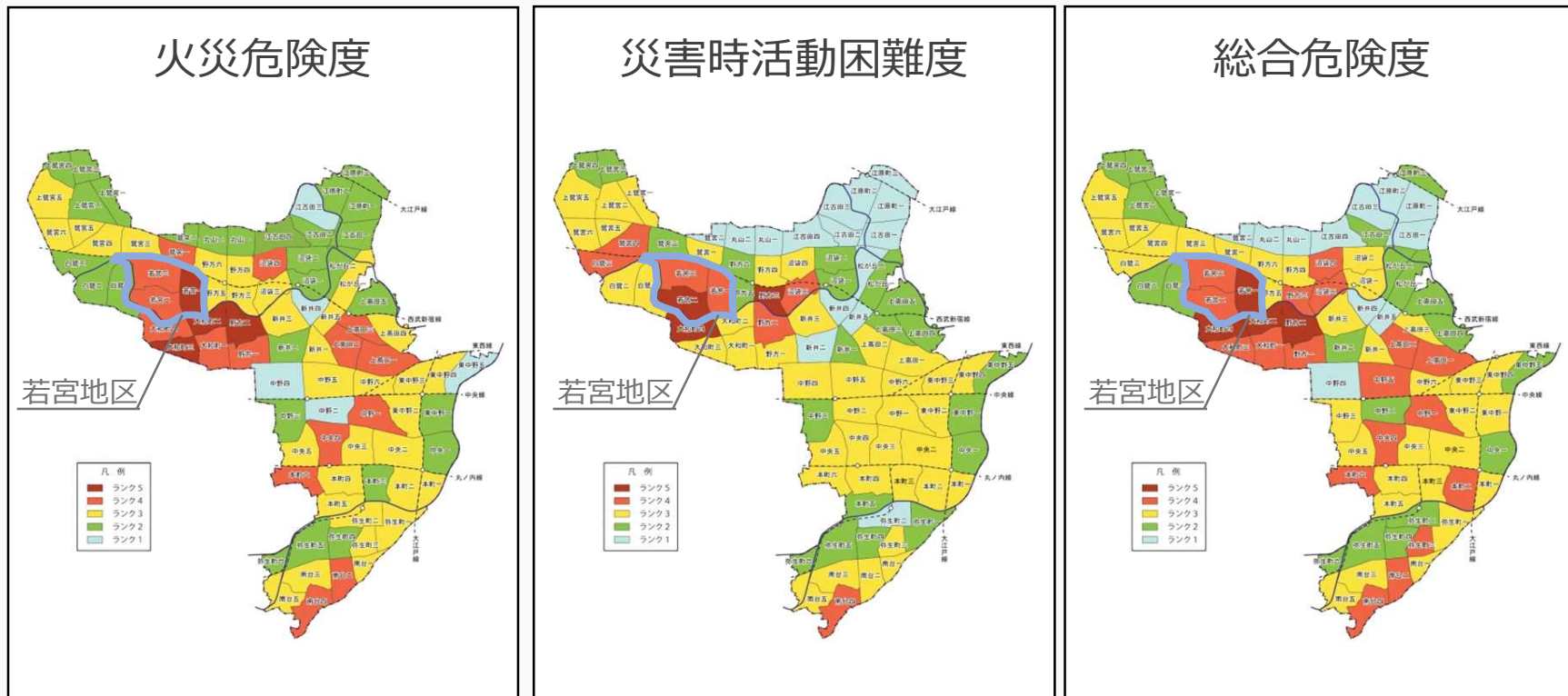
○環状7号線沿いで危険度が高い傾向がある。



1. 東京都の地域危険度

区内でも、若宮地区は**特に**危険度が高い

○区内でも危険度の分布に偏りがある。

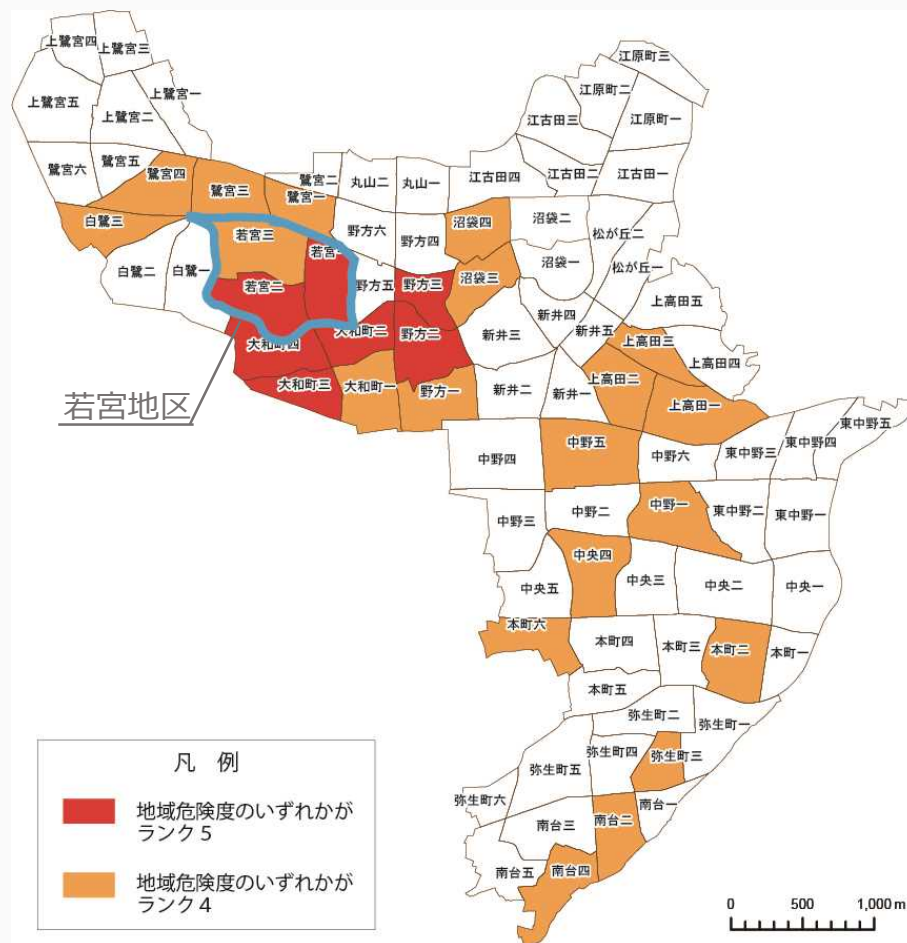


2. 若宮地区の地域危険度

区内で危険度が一番高いのは、**若宮地区**

○若宮一、二丁目の総合危険度は、**上位100町丁目にランクイン**している。(5,177町丁目中)

| | 建物 倒壊 危険度 | 火災 危険度 | 災害時 活動困 難度 | 総合 危険度 |
|-----|-----------------|-----------|------------------|------------|
| 一丁目 | 2 | 5 | 4 | 5 (32位) |
| 二丁目 | 2 | 4 | 5 | 4 (91位) |
| 三丁目 | 2 | 4 | 4 | 4 |



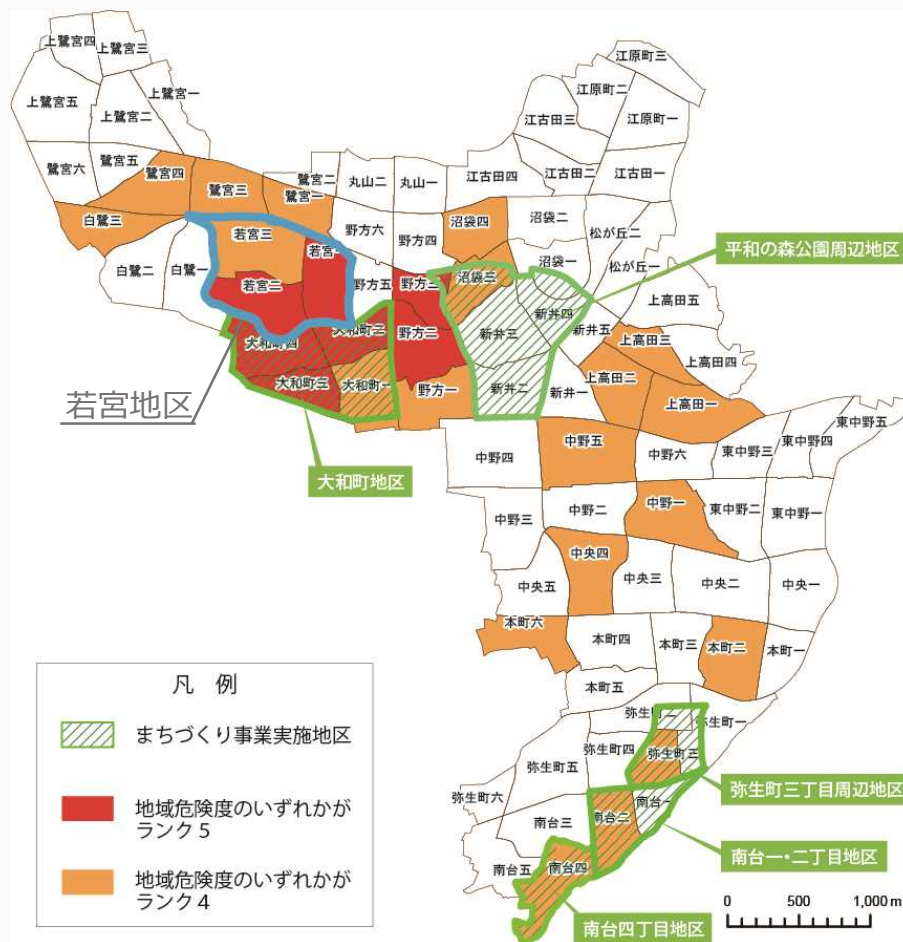
参考：大和町4丁目：80位/大和町2丁目：85位

2. 若宮地区の地域危険度

地域危険度が高いが、まちづくりは未実施

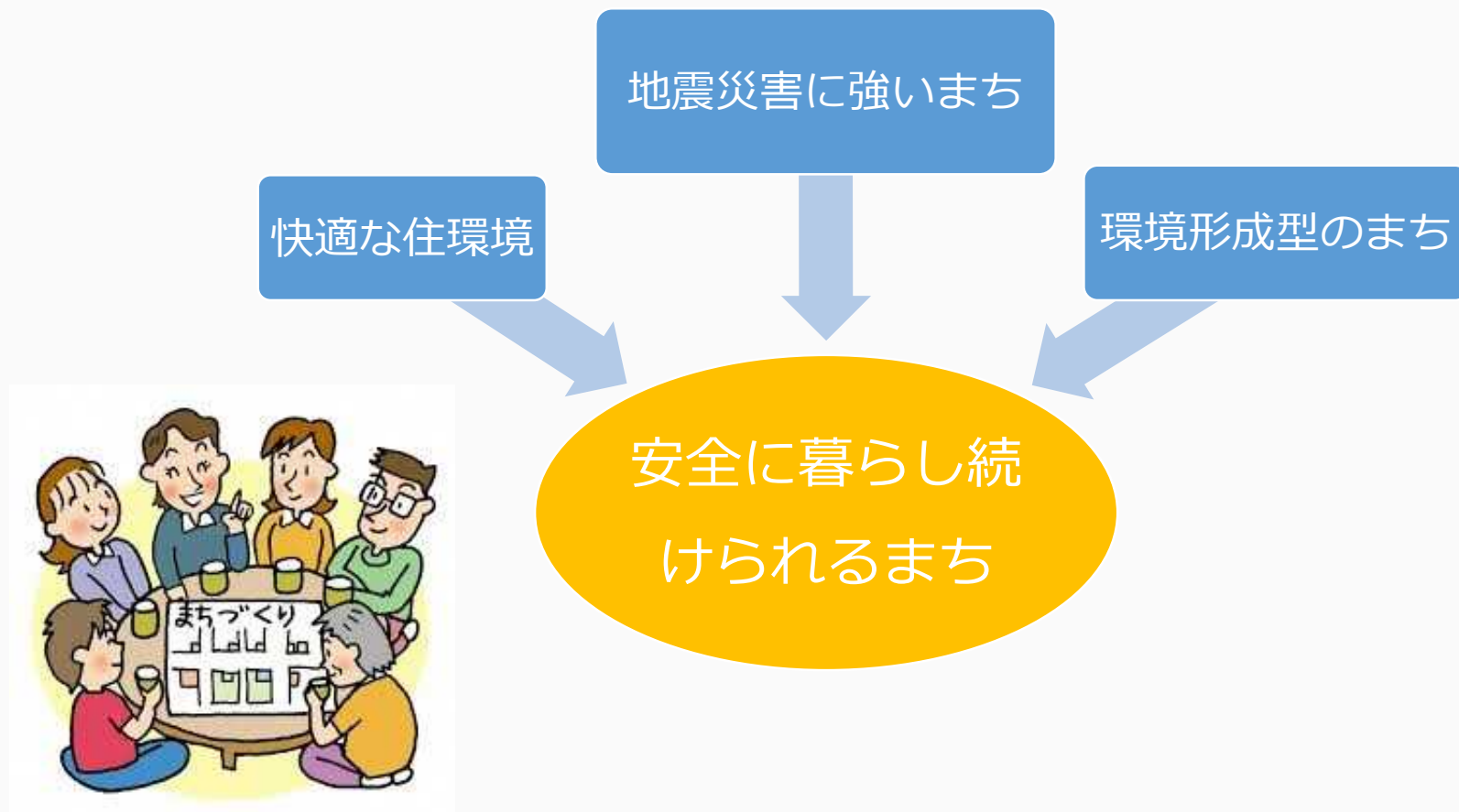
防災まちづくり実施中地区

- ・ 大和町地区
- ・ 平和の森公園周辺地区
- ・ 弥生町三丁目周辺地区
- ・ 南台一・二丁目地区
- ・ 南台四丁目地区



2. 若宮地区の地域危険度

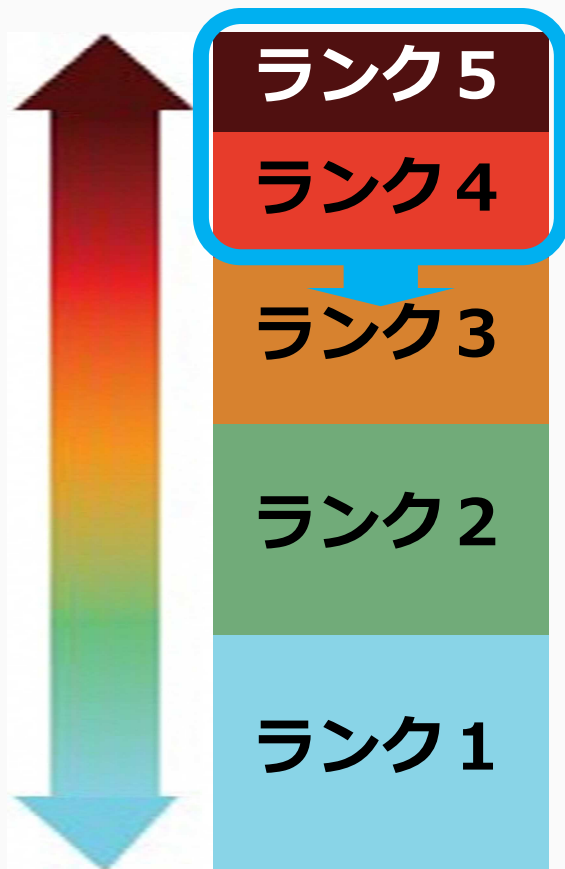
地域みんなで取組ことで、危険性を低減できます！



3. 対応手段

目標 : 危険度ランクを**3以下**にする

危険性が高い



危険性が低い

危険度ランク4・5は、**危険性の高い**地域

- 道路の幅員が狭いため消防車や救急車などの緊急車両が通れずに、消火・救助活動が遅れるおそれ
- 地震が発生すると、建物の倒壊により道路が閉塞されて、避難に時間がかかることも予想



(注)ランクは相対評価のため、安全性が向上しても、他がより一層安全となった場合、危険な方向に変化する場合もある。

3. 対応手段

みんなで地域のルールをつくって、**安全なまち**にしよう！

地域危険度を低減させる**4つのキーワード**

1 防火性能の高い建物

火災に強い建物にし、
市街地災害の被害を抑える。

3 幅員6m以上の広い道路

建物の壁面を後退させて、
安全な歩行空間や避難路にする。

2 建物の建て詰まり

ゆとりある住環境にし、
延焼までの時間を延ばす。

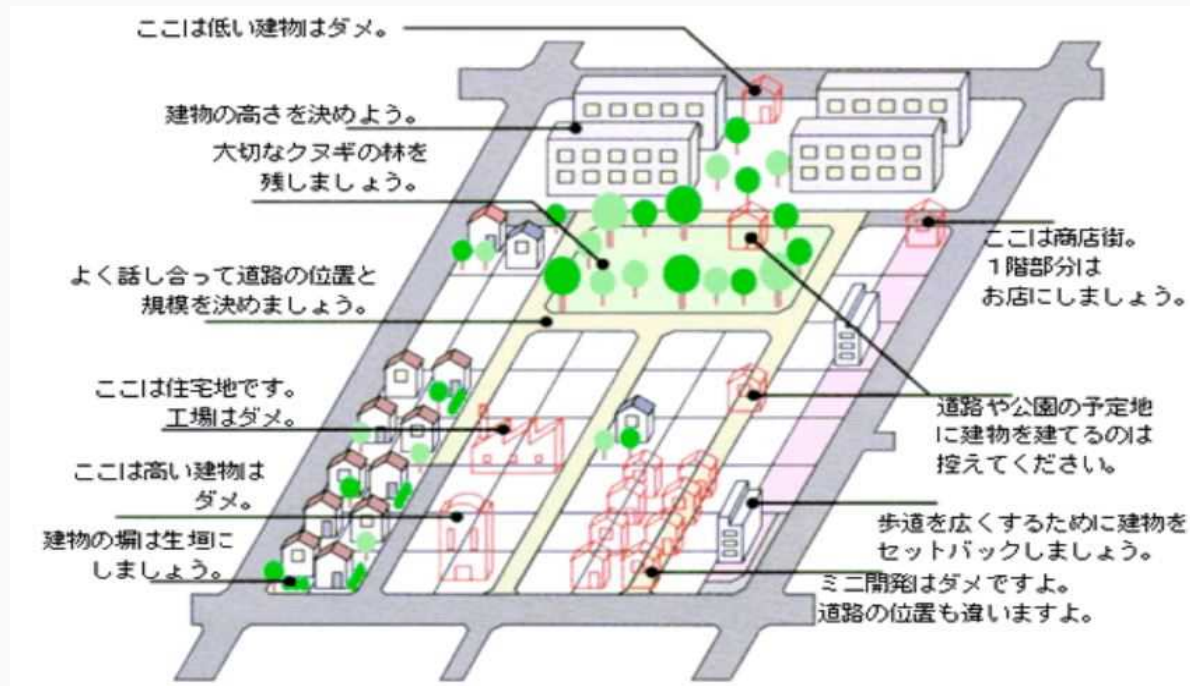
4 公園・広場

憩いの場を創出し、
災害時に活用できる。

4. ルール まちづくり計画のための手段

ルールを実現させる都市計画制度を活用した手段

○地区という身近な単位で考えるまちづくりのための 「地区計画」



4. ルール まちづくり計画のための手段

「地区計画」の概要

特徴

- ① **地区レベル**の総合的かつ詳細な計画制度
- ② **住民参画**のまちづくりを目指す手法
- ③ **区市町村主体**の都市計画制度
- ④ 計画内容の自由度・規制**手法の選択**

メリット

- ① 建築規制のルールを**地区の実情**に応じて詳細に決めることができる。
- ② 地元住民が**利用する身近な**道路、公園などを計画的につくることができる。
- ③ 地区を単位とした将来像を地区の**住民が共有**することができる。

4. ルール まちづくり計画のための手段

地区計画でできるまちづくりの例



1

建物の塀は、生け垣にしたり低くしましょう。



2

歩道を広くするために建物をセットバックしましょう。

3

隣の建物との間隔を広げて家を建てましょう。

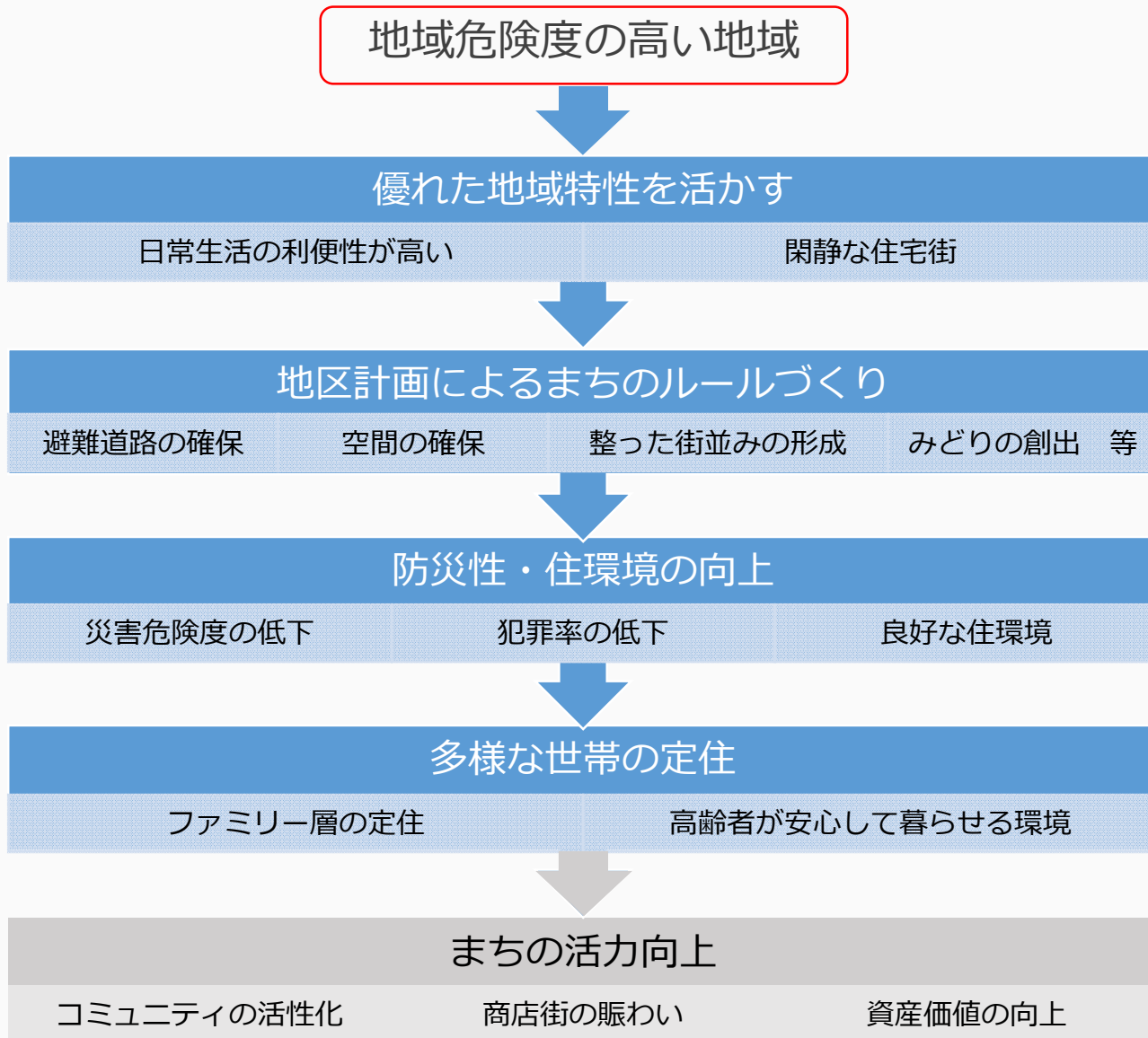


4

公園・広場を残しましょう。



4. 防災まちづくりによるまちの価値の向上



5. 進め方

地域住民と区で、協働して作成

